

いなほ

4

Vol.46

発行所 医療法人凌雲会・社会福祉法人凌雲福祉会/板野郡藍住町笠木字西野50-1/☎(088)692-5757

新入職員を迎えて



医療法人 凌雲会
社会福祉法人 凌雲福祉会
いなほ 理事長 稲次 正敬

私はこの季節が一番好きです。桜の花が咲き始めると、どんなに寒く厳しい日々が続いても必ず春は来るのだと感じます。新入職員の皆さんは凌雲グループにとって桜の花、注がれる新しい血です。今は、希望と不安な気持ちでいっぱいですが、そのフレッシュな気持ちを忘れず、凌雲グループに新しい風を吹き込んでください。そこで皆さんに3つのお願いがあります。

1つ目は、「患者さん・利用者さんの目線で考えて行動する」ということです。これから仕事をしていく中で、疑問を持ったり、判断に迷ったりすることに必ず直面します。その時、「自分だったら、どうして欲しいか?」「自分だったら、して欲しくない事は何か?」をまず考えて行動して下さい。

2つ目は、「常に謙虚な態度で行動する」ということです。私たちは、医療・介護・

福祉の分野で、多くの患者さんや利用者さんと関わっています。私も40年余りに医師となつて以来、教科書で学んだこと以上に患者さん、利用者さんから多くのことを学ばせていただきました。そして、現在も教えられることばかりです。皆さんも多くの方から学ばせていただくのだという、常に謙虚な気持ち・態度で行動することを忘れないでください。

3つ目は、「凌雲グループのスタッフとしての誇りと責任をもって行動する」ということです。私たちの病院、施設は、すべて各種法令に基づいて運営されています。法令遵守と凌雲グループ内規則コンプライアンスの徹底、ということとを念頭に行動してください。10年後、20年後、ふと振り返った時に、ここで働けてよかった、と思えるような職場、そんな職場で働いている自分に誇りを持ち、また責任を持って一緒に頑張っていきましょう!皆さんのこれからの活躍を期待しています。

在宅ケア支援センター凌雲津田 開所しました。



当法人は開設以来、藍住町を拠点として、高齢者、障がい者の「地域での生活の継続を実現」するため、医療、介護、福祉サービスの提供を行ってまいりました。

そしてこのたび、4月1日から県のPFI事業(原営住宅の集約化事業)における福祉施設の一つとして、徳島市津田町に「在宅ケア支援センター凌雲津田」を開設いたしました。

この施設では、高齢者、障がい(児)者の方からの介護相談、生活相談等の総合的な相談支援や、

訪問介護員(ヘルパー)派遣など、在宅支援の効果的なサービス提供をしていきます。

また、高齢者、子育て支援のための各種事業(移動図書館、健康教室(防災イベント等))を通じて、地域とのつながりを大切にして、地域の皆様との交流も実現したいと思えます。

当施設が地域福祉の新たな拠点となるよう、微力ながら職員一同、よりよいサービス提供をめざしてまいりますので、今後とも皆様からの暖かいご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人 凌雲福祉会
施設長 松下 義雄



在宅ケア支援センター凌雲津田



多目的ホール



認知症サポーター養成研修の 取り組み実績や状況の報告



小規模多機能ホーム
名東の家
ホーム長 西浦 佳代

凌雲グループでは、「認知症高齢者やその家族が、住み慣れた地域で尊厳を保ちながら、安心して生活できる社会」の実現を目指した徳島県での取り組み事業、『認知症サポーター養成』にグループを挙げ、取り組んでいます。

認知症サポーターはなにか特別なことをするのではなく、①認知症について正しく理解し、②自分では何が出来るかを考え、③それを実践するのが役割です。

研修では、実際の事例を交え、認知症の方に声をかける場合、相手を不安にさせたり、自尊心を傷つけたり、怒りに変わったりと更なる症状を誘発させてしまうことや、グループワークにおいて活発な意見交換もありました。仕事

で認知症の方と関わりが多い私たちですが、改めて気づいたこともたくさんあったようでした。

今回の研修では 338 名のサポーターが誕生しました。

認知症サポーターは地域の方もなることができます。興味のある方はお気軽に凌雲グループまでお問い合わせください。

ほんの少し私たちが支えることで、認知症の方やその家族の方に安心や勇気を与えられるかもしれません。

認知症サポーター養成の取り組みは始めたばかりなので、今はまだまだ小さな「輪」かもしれませんが、これからもっとサポーターの「輪」が地域にも大きく広がり、認知症高齢者の方がよりよく過ごせる環境となるよう、この活動を絶やすことなく行っていきたいと思います。



グループワークの風景



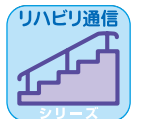
図1

③は百均で手に入りますので作ります。①は手グリップの材料は①軍手②綿③マジックテープ④裁縫セットになります。①は手グリップの材料は①軍手②綿③マジックテープ④裁縫セットになります。

脳血管障害などの後遺症である麻痺により手指を握りこんでいる方がいらつしやると思いますが、夏場など気温の高い時期になると握りこんだままだと発汗による湿気と菌の繁殖で異臭を放つことも少なくなく、リハビリの時にも痛みを発生しやすくなるデメリットもあります。よくタオル等を筒状に丸めて握ってもらっている光景を見かけますが、筒状に握るよりも、球体を握るようにする事で手指の拘縮を予防しやすいようです。そこで軍手を用いて通気性の良い手指拘縮予防具の作りかたを紹介したいと思います。材料は①軍手②綿③マジックテープ④裁縫セットになります。



昇訪問リハビリテーション
主任 下地 康広



シリーズ
Vol.13

知っておくと得をするリハビリの話
簡単に作成できる手指拘縮予防具

成費用も安く大体300円ぐらいです。

【作り方】

1. 軍手の親指と小指以外の指の根元を縫います。(図2-右)
2. 握りこぶしを目安に綿をギュウギュウに詰めます。(図2-中)
3. 軍手の手首の所を縫い付けます。
4. 親指と小指の部分にマジックテープの雄雌をつけます。(図2-左)
5. 1で縫った指3本をカットします。これで完成です。(図3-左)



図2

今回は指なしタイプをご紹介しましたが、指の部分のカットせずに作るものもあります。指の根元を縫い付けずに綿を詰め込んでください。(図3-右) 握りが強く指と指の間が開き難い方にお勧めです。



図3

◆ 凌雲グループ障がい者サービス部門事業の紹介 ◆

★ 20 歳になりました★



障がい者デイセンター凌雲 主任 万代 美鈴

今年4名の方が成人を迎えられましたがそのうち*柴折 拓実さん*と*高井 佑依さん*と*藤本 真由さん*が2月7日に行った成人式に出



成人式

席3人からはいっばいの笑顔、同席頂いたお母様からは感謝のお言葉を頂きあたたかい成人式になりました♥

支援学校時代より実習等で来て頂いている3人なので初めて出会った高校生の頃から比べると表情やしぐさがすっかり大人になられたなぁと私たちデイ職員も嬉しくなりました!!

これからも楽しいこと・嬉しいこと・また大変なことなど色々な未来が待っていると... 輝いた毎日を送って頂ければと思います。

席してくれました。

当日はドレスやスーツに着替え少し緊張気味な表情...いつもとは違った大人な一面を見せてくれました★

式ではデイをご利用されている成人の先輩方からたくさんお祝いの言葉を頂いたり一緒に歌を歌ったり踊りを見たりしました。



柴折 拓実さん



高井 佑依さん



藤本 真由さん

新人マーク

平成27年度から、新人職員(全部署)は1年間、左肩にピンクの稲次マークを付け、初心者としての自覚を持ち、先輩職員は、新人を温かく見守り成長を支援できるような環境を提供します。



お知らせ



看護師のピンクの紐



介護職員の黄色の紐

平成27年度から、病院職員の看護師は名札の紐をピンク、介護職員は黄色へ変更しました。よろしくお願ひします。

求人情報

募集しています

業務拡大により下記の方、大募集。

- ・正看護師、准看護師
- ・理学療法士
- ・作業療法士
- ・言語聴覚士
- ・薬剤師
- ・歯科衛生士
- ・介護職



※特にリハビリテーションケアに興味がある方などお待ちしています。

【問い合わせ】

法人管理部 TEL 088-692-5757



入賞！おめでとう！



受賞作品「親子」

第33回肢体不自由児・者の美術展 コンピューターアートの部において 優秀賞を受賞されました。



就労支援センター ハーモニー 近藤 美恵さん



2015年度介護報酬改定について



老人保健施設 昂
施設長 秋山 郁恵

2015年度介護報酬改定は、2006年度改定以来、9年ぶりのマイナス改定となります。全体の改定率は、マイナス2.27%とされています。主には、介護度の重い方や認知症の方への対応などの介護サービスを充実させるためにプラス0.56%、介護人材確保対策としてプラス1.65%、他はマイナス4.48%という厳しい内容となっています。特に介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)は、5~6%マイナスと非常に厳しい状況となっています。この改定は、2025年に向けて、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築を実現していくためとされています。「地域包括ケアシステム」とは、介護度が重くなったり、認知症になったとしても、「住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるようにする」という基本的な考え方です。この考え方を実現するために在宅生活を支援するためのサービスの充実を図る改定となっています。

通所介護(デイサービス)では、基本報酬を引き下げ、介護度の重い方や認知症の方への対応、機能訓練に関する報酬をアップさせています。また、通所リハビリや訪問リハビリにおいては、利用者の状態を定期的に把握し、日常生活の継続に向けた目標を設定し、達成を図り、社会参加を促すという介護保険本来のリハビリを目指すことが方針となっています。さらに、職員の質に着目し、介護福祉士の割合が高い事業所はますます評価されています。今回の改定は、大変厳しいですが、介護福祉士取得やリハビリの質の向上を目指している事業所が評価されていますので、引き続き、介護福祉士取得やリハビリの質向上を目指し、職員一同、研鑽を積んでいきたいと思っております。



H27年4月より介護報酬の改定がされ、その中でも通所リハビリや訪問リハビリの内容・目的が大きく変わります。リハビリの目的として「リハビリテーションは、心身に障がいを持つ人々の全人的復権を理念として、単なる機能回復訓練ではなく、潜在する能力を最大限に発揮させ、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を可能にし、その自立を促すものである」とされています。

つまり、ただ単にベッド上のリハビリだけではなく、生活場面に沿った日常生活で活用できるリハビリが重要であるということです。

実際にはリハビリ専門職が実際の生活場面を評価し、高



昂指定居宅介護支援事業所
管理者 後藤 雅史



シリーズ Vol.14

介護保険サービスの紹介 介護保険のリハビリが変わる

利用者の方もリハビリの目的としてどのような動作が出来るようになるのか、どのような活動が出来るようになるのかを考えリハビリスタッフやケアマネージャーと一緒にプランを考えていく必要があります。そしてこの内容はリハビリテーション会議と称するリハビリ職員とケアマネージャーが目標や評価を共有して進めて行きます。

一人でも多く自立した、また社会参加し生きがいのある生活が支援出来るようケアマネージャー、リハビリ職員共にこれからもがんばっていきます。

年齢者が有する能力を發揮しやすい環境調整を行い、生活場面で明らかになった課題をケアマネージャーと連携し通所リハビリや訪問リハビリのプログラムに反映させて不安定な動作を改善させます。



ちびっこ園
シリーズ
Vol.9

卒園式



ちびっこ園22回目の卒園式が3月26日に行われました。天気にも恵まれ、晴天の中集まった卒園児たちの表情も晴れやかで、お友だちと可愛い衣装の見せ合いっこで園庭は賑わっていました。

から修了証書を受け取る姿や、うたを歌う姿、手話を一生懸命する姿に、入園当初の不安そうな表情やヨチヨチ歩きだった頃の姿を重ね、成長の嬉しさと別れのさみしさがこみ上げ目頭が

熱くなりました。ちびっこ園で過ごした期間は違っても、一人ひとりの成長に関われたこと、そしてこんなに立派に式ができたこと、心から嬉しく思います。
今年卒園したのは、しずるちゃん・あゆむくん・あいちゃん・のはらちゃん・あみちゃん・しおんちゃん・かほちゃん・あいとくんの8名の子ども達。今年の卒園児はしっかり者が多く、よく小さい子のお世話もしてくれ、年下の子ども達からもとても慕われていました。またこの1年、園でのイベントに加え、昂・凌雲・藍寿苑といろいろな施設のイベントにも参加させてもらい、すっかり自信がついた子ども達は、卒園式でも8名全員が入場から退場まで堂々としていて、とても頼もしく見えました。前をしっかりと向き理事長

熱くなりました。ちびっこ園で過ごした期間は違っても、一人ひとりの成長に関われたこと、そしてこんなに立派に式ができたこと、心から嬉しく思います。

お世話が大好きなしっかり者の8名の卒園児は、4月からそれぞれの地元の幼稚園や保育園に入園します。希望に満ち溢れたそのまなざしで、幼稚園や新しい保育園でも楽しい毎日を送ってほしいと思います。



★ 卒園おめでとう★

ちびっこ園 武田 千寿

知恵袋
シリーズ
Vol.11

旬の野菜には体がよろこぶ栄養素がたっぷり!



稲次整形外科病院
栄養課 光永 茜



みなさんは野菜には旬があるのを知っていますか?今、スーパーに行けばいつでも

もいろんな野菜が並んでいます。野菜には出盛り期の時期、食べ頃の時期があります。この時期を旬といい、最も味が良いとされています。今が旬の野菜は春キャベツ、菜の花、たけのこ、新たまねぎ等があります。

春キャベツは花粉症対策としても効果的であり、さらにはビタミンCや食物繊維、カルシウムも多く含まれています。美肌によいビタミンCは外側の葉や芯に多く含まれているのでこの部分も捨てずに食べるようにしましょう。菜の花はβカロテン、カ



リウムが豊富であり、カリウムは高血圧の予防になり脳卒中のリスクを下げる効果もあります。たけのこにはカリウム、マンガン、食物繊維、チロシンが多く含まれていて生活習慣病予防に効果的であり、新陳代謝を促進してくれるはたらきもあります。新たまねぎにおいては成分「硫化アリル」は血液をサラサラにし、中性脂肪や悪玉コレステロールを減らす効果もあります。

このように野菜にはさまざまな栄養素が含まれています。旬の時期は他の時期に比べて栄養素が多く含まれているため、効率よく栄養素を摂取することができます。今が旬の野菜をしっかりと食べて健康な体づくりをしていきましょ。





まつ毛のお話 その後

前号でお約束したように、今回は医療用まつ毛外用液(グラッシュビスタ®)を2ヶ月使用した結果をご報告します。写真1が外用前の私のまばらなまつ毛、写真2が2ヶ月後の状態です。いかがでしょうか？ え？あまり変わっていない？

おっしゃる通りです。真面目に塗らなかった私が悪いんです。寝る前に塗らなくてはいけないので、つついさぼり気味に。専用の刷毛でサッとまつ毛の根本に塗るだけなんです。毎日苦痛で苦痛で。

でも良く見ると、端っこの方はちょっとカールして、長くなっているような気がしますませんか？(しない?)密度も濃くなっているような気が…。

このまま終わってしまうのは大変申し訳ないので、大変効果があった方をご紹介します。愛媛県十全総合病院形成外科 神田 郁乃先生です。

写真3が外用前、写真4が6ヶ月後です。



何ということでしょう～、まつ毛が2倍近く長くなっています。驚きです。先日お会いしたのですが、もうフッサフサでした。

実際使ってみて、私は副作用はありませんでしたが、神田先生は、若干目の周りが赤くなっていました。でもアイシャドーのような感じなので気にはならない、とおっしゃっていました。

この薬は保険は効かず、2ヶ月分で約2万円(1日当たり300円位)かかります。エクステが嫌、付けまつげの接着剤にかぶれるなどの方にはおすすです。

ご興味のあるかたは、形成外科外来にご相談下さい。

稲次整形外科病院 形成外科 高瀬 真記

厚生労働省H26年度「人生の最終段階における医療体制整備事業」の実施状況

1. 「うちの最期はうちが決めるんじょ」

平成27年2月18日(木)14時～15時 昂ダイルームにて、地域住民の方に向けて、研修会を開催しました。

死を語ることはタブーとされた時代は終わり、「終活」という言葉を聞いたことがあると思います。そこで、自分の最期をどう迎えますか？自分らしく最期を迎えるための準備をしておきませんか？ということを考えていただくために以下のような内容で周知しました。

①厚生労働省で採択された事業について

②寸劇「うちの最期はうちが決めるんじょ」

いなほ劇団

③「楽カフェ」開設について 毎月第2・4水曜日 10時～12時 昂1階 相談室

参加者はデイケア・デイサービス利用者や病院・施設の職員で総勢約140名程でした。いなほ劇団による寸劇は「事前指定書」(自分の医療は自分で決める)を下に医療について元気なときから、自分で意思決定でき、選択できる知識を持っていると、残された家族が困らないし、揉めることもないようにしましょう。という設定でした。役者は普段から患者様と関わ



っている職員(看護師、理学療法士等)が迫真の演技で、アドリブ続出で笑いあり、涙あり?で終えました。

2. 心が楽になる、楽しくなる 地域サロン「楽カフェ」

平成27年2月25日(水)10時～12時 昂1階 相談室にて開催しました。

「楽カフェ」は終活、事前指定書の書き方、エンディングノート、グリーフケアについて楽しく語り合うサロンです。参加は自由ですので、お誘いあってお越しください。お茶菓子の用意もしています。

参加者は6名で看取りをされたご家族や、現在、介護に奮闘中の方等、さまざまな人が、自分の思いを話してくださいました。「事前指定書の書き方」についての説明をして、その内容について、理解できないことはないか話し合いました。また、看取りの体験をされた方は介護をした経験をお話し、参加者皆で涙ぐむ場

面もありましたが、アットホームな雰囲気です。

「楽カフェ」毎月第2・4水曜日 10時～12時 昂1階 相談室

稲次整形外科病院 看護部長 岩藤 のり子



ご寄付・ご寄贈 ありがとうございます

・日本財団様より障がい者生活支援センター凌雲に車両(1台)ご助成頂きました。



**看護の日
イベント**



参加無料
相品・わたがし・スズレット
健康教室・サックス演奏・太極拳・バザー・写真撮影・寸劇

【日時】平成27年5月17日(日)
AM9:00-PM12:00

【会場】老人保健施設 昴 1階デイルーム

新入職員紹介

医療法人
凌雲会

平成26年12月～
平成27年4月まで



**♪ご結婚・ご出産
おめでとうございます♪**

凌雲グループ
スタッフの

H26年12月～H27年3月分

▼ご結婚

H27/3/3 上村 瞳さん(旧姓:藍原) 親の家

▼ご出産

H26/12/12	男児	小川 麻美さん	1病棟
H27/1/11	女児	佐藤 広隆さん	リハビリ
H27/1/16	男児	河村 和也さん	リハビリ
		杏子さん	ハーモニー
H27/2/15	男児	多田 知広さん	放射線科
H27/2/26	男児	辻 俊行さん	リハビリ
		真理子さん	昴入所
H27/3/9	女児	加藤 由加理さん	リハビリ
H27/3/14	男児	井内 亮太さん	リハビリ
		葉月さん	1病棟



放射線科 診療放射線技師
横内 義憲



看護部 正看護師
片岡 登志子



看護部 正看護師
東條 舞



看護部 正看護師
宮本 絵梨



看護部 正看護師
木村 美貴



看護部 准看護師
越久 聡子



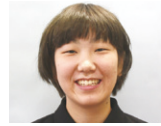
病院看護部 介護福祉士
杉本 脩造



看護部 介護職員
竹内 泰章



看護部 介護職員
内田 優希



看護部 介護職員
前野 仁美



リハビリ部 作業療法士
中村 愛



リハビリ部 作業療法士
板橋 勇季



リハビリ部 理学療法士
高田 晃彦



病院リハビリ部 理学療法士
福井 浩美



リハビリ部 言語聴覚士
原田 友里絵



昴 正看護師
下木 ちさと



昴 正看護師
辻村 文代



昴 介護福祉士
辻野 美沙



昴 介護福祉士
竹内 千智



昴 介護福祉士
尾崎 愛



昴 介護福祉士
平野 良建



昴 介護職員
大塚 美穂



昴 介護職員
有持 沙也加



昴 介護職員
藤本 亮介



栄養課 調理師
鎌田 勇樹



マディオン 名東町 事務職員
中村 章



マディオン 名東町 調理員
杉本 初子



マディオン 名東町 調理員
寺内 美恵

社会福祉法人
凌雲福祉会



小規模 多機能ホーム 名東の家 介護職員
田中 美紗稀



小規模 多機能ホーム 名東の家 介護職員
細川 未貴



小規模 多機能ホーム 名東の家 介護職員
西木 妃奈



凌雲ヘルパー 訪問介護員
清水 房子



凌雲ヘルパー 訪問介護員
吉野 由美子



第2ヘルパー 訪問介護員
大野 美鈴



障がいデイ 介護職員
東村 和貴



障がいデイ 事務職員
青山 さゆり



凌雲デイ 送迎職員
中井 啓司



凌雲デイ 介護職員
栗本 将希



凌雲デイ 介護職員
吉岡 春奈



凌雲デイ 機能訓練指導員
齋藤 慶子



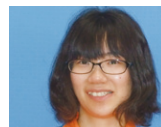
小規模 多機能ホーム 第2監 介護職員
亀井 百合子



藍寿苑 介護職員
湯浅 陽平



藍寿苑 介護職員
尾上 志乃



津田 ソーシャルワーカー
奥浦 千尋



津田 訪問介護員
藪内 友子



津田 訪問介護員
濱口 千秋



訪問看護 看護師
岡田 忍



ケアハウス 事務職員
茂 理恵



シリーズ 白石 Dr. コラム

初めまして、白石です。



初めまして。平成26年4月から稲次整形外科病院で、内科医として勤務している白石達彦です。簡単ですが、自己紹介をさせていただきます。

前年度まで県立三好病院内科で勤務していました。地域の中核病院として、24時間救急車が集まる病院です。私は、内科全般を診ていましたが、消化器疾患を診る機会が多く、内視鏡検査なども行っていました。

私の出身大学は、自治医科大学です。へき地医療を支えるために設立された大学で、卒業後には地元に戻り、木頭村や西祖谷山村での、へき地診療所勤務を経験しました。へき地医療を行うにあたり、病気だけを診るのではなく、患者さん全体を診る全人的医療を行うよう先輩方から教わりました。どのような時も、全人的医療を行うことは大切なことであり、今もそのように心がけています。

東日本大震災の際には、徳島県から宮城県石巻市への医療派遣チームとして、支援に参加しました。医療物資が不足する中で、薬剤や機材などを準備し、診療にあたりましたが、普段の準備がとても大切だと感じました。凌雲グループでも、災害対応のための訓練を行っています。自分の経験が訓練に活かせればと思います。

稲次整形外科病院は、地域を支える病院として、寝たきりになる可能性が高い大

● 腿骨骨折の手術を積極的に行っています。また、脳卒中後や整形疾患の術後にリハビリテーションが必要な患者さんを、急性期病院から受け入れています。● 高血圧や糖尿病などの合併症を有している方も多く、内科でも複数の医師で連携し、患者さんにとってより良い、途切れない治療を行っています。

● 凌雲グループには、病院以外に、入所や通所などのいろいろな施設サービスがあります。施設を利用される方は、高齢の方がほとんどです。安心して利用できるよう、体調を崩された際、当院でしっかり対応しています。● グループ内でのスムーズな連携は、重要な事だと実感しています。

● 高齢者の増加とともに、人生の最終段階における医療について考える事が重要になってきています。以前より、当院では、その取り組みを推進してきました。● 本人が望む最期を迎えるためには、希望する治療を、前もって家族や、かかりつけ医と相談しておくことが大切です。● 相談の手助けを行い、希望に沿える医療を提供できるホームドクターを目指します。

● 当院で、勤務して1年になります。これからも頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

稲次整形外科病院
内科医 白石 達彦

岡田 玲一郎 先生 特別講演会のお知らせ

開催
決定

ご自身やご家族の健康に不安をお持ちの方、
まだまだお元気な方、老若男女どなたにも
役立つお話です。



自分らしく生き、
自分らしく死ぬ。
そのための「作法」とは。



開催日時：5月9日(土)

開場：13:00 開演：13:30～15:30

会場：藍住町コミュニティーセンター
(藍住町役場4F)

内容：1. 寸劇「うち(私)の最期はうち(私)が決めるんじょ」
いなほ劇団

2. 岡田玲一郎先生 特別講演会

入場料：無料

編集
後記

新年度がスタートしました。今年度も沢山の新しい仲間を迎えることができました。日中随分と暖かくなってきましたが、まだまだ朝夕は肌寒い季節です。体調には十分に気を付けて下さい。

広報委員 親の家 ホーム長 福富 郁代

